日本女醫会誌

公益社団法人日本女医会
復刊第 244 号
2022 年 1 月 31 日発行
題字　吉岡彌生

巻頭言

生き方、働き方、学び方を、共に考えていきたい

副会長　花岡和賀子

明けましておめでとうございます。

2022 年元旦は大雪警報が出ていた地域もありましたが、東京は晴れて美しく清々しい初日の出を拝むことができました。午前 7 時前、東の空が明るく輝いて大きな太陽が昇り始め、遠く西の山並みに冠雪した富士山がくっきりと神々しくそびえていました。そして、また今年も昨年と同じ祈りと願いになりました。「どうぞ、一日も早くコロナが収束しますように。そしてみんなが安心して暮らせますように」と。

2020 夏に開催されるはずだった東京オリンピック・パラリンピックが COVID-19 の感染拡大のため 1 年遅れで開催されました。開催にあたっては賛成、反対の意見が世論を二分しギリギリまでどうなるのか気を揉みました。医療面からは、世界から何万人もの人が集まると必ず恐ろしい規模のクラスターが発生する、開催は中止すべきという反対意見。また一方、このオリンピックのために頑張ってきたアスリートのため、制限を設けてでも開催すべきという賛成意見が連日大きく報道されました。日本女医会会員の中でも其々、意見を発信し外国放送局等からインタビューを受けた会員もいましたが、個人の意見を尊重して「日本女医会」としての statement は出しませんでした。そして、開催決定。無観客の開会、閉会式での控えめな演出はやや不完全燃焼感は否めませんでしたが、それでも選手の見事な競技には引き込まれました。幸い、大きなクラスター発生はなく安堵しました。

その後、感染者数も減少してこのまま収束していくかもしれないと期待しましたが、また新たな変異株オミクロンが南アフリカで報告されて、あっという間に感染拡大しています。医学は日々進歩して種々の感染症を制圧してきましたが、また次の新しいウイルス、微生物と戦っていかなければなりません。

1902 年前田園子によって設立された日本女医会は今年で創立 120 年になります。明治時代、女性は医学を学ぶことさえ許されない時代だったと聞いています。それでも怯まず苦労して医学の道を学んだ先人たちの、そのたゆまぬ努力で現在、私たちは志す道を自由に選択できます。が、それでも数年前には入学試験での差別が大きな問題になりました。日本の医師約 32 万人中、女性医師 7 万人と約 20% ですが女子医学生は約 30% となり、男子医学生の増加率を上回る増加ペースになっています（2018、2021 年）。

高校入学願書に性別の記入を無くしたという自治体があります。ジェンダーレスを目指す社会において性別をとやかくいう時代ではなくなってきているのかもしれません。それでも女性同士で生き方、働き方、学び方を、共に考えていきたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

日本女医会誌（復刊第244号）もくじ

巻頭言　副会長　花岡和賀子（1）
年頭所感　（2）
新谷朋子、髙橋英子、豊岡志保、山崎トヨ、佐藤麻子、大野弓子、黒﨑伸子、板井八重子
第 14 回医学を志す女性のためのキャリア・シンポジウム報告　磯貝晶子（4）
長寿社会福祉事業講演会　馬場安紀子（5）
宮城県女医会市民公開講座　樋渡奈奈子（6）
国際女医会通信㉕　前田佳子（7）
学術研究助成　受賞者の軌跡
「RNA モドミクスを用いた新たな緑内障病態の解析」　小川亜希子（8）
日本女医会アーカイブ⑬　（9）
北から南から②　山口淑子（10）
理事会議事録　（11）
会員動静　（12）
役員選挙告示　（15）
第 67 回定時総会のお知らせ　（15）
乳幼児用ミックス離乳食（Spoonfulone スプーンフルワン ®）についての注意喚起　（16）
ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチン接種の積極的勧奨再開について　（16）
訂正とお詫び・寄附者一覧・編集後記　（16）

年頭所感

オンラインを活用し活動継続を

北海道支部会　新谷朋子

新年明けましておめでとうございます。新型コロナ感染症の影響で、2020 年の総会は中止でほとんど活動ができませんでしたが 2021 年度は総会と3つの講演会をオンラインで開催しました。

若い先生、医学生への紹介として、JCOM の札幌人図鑑の協力のもと、YouTube で輝く女性医師のインタビュー動画をアップしました。多くの皆様のご協力に感謝します。

今後も制限のある中で少しずつ活動を継続できればと思っています。

皆様のご健康と益々のご活躍を祈念いたします。

青森県女医会の新しい活動様式

青森支部　髙橋英子

新年おめでとうございます。

一昨年は、初めて経験する新型コロナウィルス感染症に対して自粛が最優先で県の総会や地区活動も中止せざるを得ませんでした。今年は村岡新会長の「何としても対面で総会を」という強い希望で、感染症対策を十分して、総会だけでなく教育講習会も二年振りに対面で開催することが出来ました。

とはいえ、従来の会食を伴う懇親会の意味合いの強い各地区の情報交換会はまだ無理です。

この情況を逆手にとって、メーリングリストを活用し、地区を越えた少人数の活動（趣味、スポーツ、ハイキングなど）を模索中です。また教育講演会の「ジェンダーギャップやプロダクティブヘルスライツについて」の内容をもう少し深く掘り下げ、県女医会の助成金を活用し、会員を含む少人数の勉強会（オンラインでも可）など「女性の健康を守るための取り組み」を進めていくことになりました。

一日も早く、制限のない日常に戻ることを願っております。

みずのえとら　壬寅 2022 年に寄せて

山形支部　豊岡志保

今年は（みずのえとら）で、辛い冬を越して、新しい芽吹きを感じる年といわれています。私は寅年で、今年還暦を迎えます。昨年は自粛の中でも直接、人に会うことのパワーを感じました。会う機会が少なくなると、初めて会う方には自己紹介、自らを知ってもらう努力をすることが必要なります。転職の際に女性医師は「自分は○○をしない、出来ない」と伝えがちです。でも、それぞれの医師の今までのキャリアを活かすような自己紹介やプロフィールに自分の良いところ、得意なところを一緒に考えるお手伝いがしたいと考えています。それは、若い女性医師がライフサイクルの中で新しい職に移るときにお役に立てるのではないでしょうか。先日のキャリアシンポジウムでの村木厚子氏のご講演は大変励まされ、素晴らしい企画でした（6 ページ参照）。人のために働くことは力になると思いました。男女関係なく未来の医師は自分のキャリアを生き生きと描き出せる医療界、社会になることを願っています。

大切な日本女医会

栃木支部　山崎トヨ

明けましておめでとうございます。

いっとき、収束しかけたコロナ禍ですが、今年は世界中がオミクロン株に脅かされそうな気配です。会員減少が続いている日本女医会の現状もあります。逆境の今「ピンチはチャンス」ととらえ、役員と会員が力を合わせ、会のために本気で知恵を絞り、工夫をし努力をして、会員増強や会の維持発展に努める時であると思います。社会に対して物を云える日本女医会に誇りを持って努力したいと思います。若い女性医師の働き方やキャリアアップのための援助も求められています。当会は唯一国際女医会とつながっております。国際女医会での活動も意義があり楽しみもあります。

そして、一番大事なことは、幾多の苦難を乗り越えて日本女医会を残してくれた多くの先輩女性医師に感謝することだと思います。

第 68 回総会でお会いできるのを楽しみにお待ちしております。

年頭所感

東京女子医科大学学内支部　佐藤麻子

新年明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルスパンデミックから約2年、もうマスクやゴーグル、手洗いの感染対策は日常となりました。このような基本的感染対策でインフルエンザやノロウイルス感染症は減っている一方で、一昨年は流行しなかったために免疫のない子供が増えパンデミックになってしまったのがRSウイルス感染症です。ウイルス感染対策の難しさを痛感します。

基本的感染対策以外にも、各学会や委員会はWeb配信となり、現地と配信のハイブリッド型、インターネット会議など新しい形態が急速に普及しました。オンデマンド配信では都合のよい時間にじっくり講演が聞けるという利点がありますが、やはり現地に赴き対面でこそ新しい情報交換ができる、といった意見も聞かれます。今年もwithコロナの状況で、より良い方向を模索していく一年となるでしょう。本年もご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

コロナ今年の動向は？

愛媛支部　大野弓子

新年おめでとうございます。

先日､2年ぶりに、地元ホテルで感染対策をとりながら医会、講演会が開催されました。皆と実際に顔を合わせて参加できる温かさを久しぶりに感じ、第6波を迎えることなく、この状態が続くことを祈りました。

愛媛は観光都市でもありますので、地元の経済活動を活性化させることも大事です。

オンライン開催や必要なデバイスの扱いに慣れていないので増々、中央との繋がりは薄くなってしまいました。

昨年は県内での同窓会も2年続けて自粛となりましたので、今年は皆様にお会いして“お元気でしたか?”“お変わりないですか?”などと普通の会話ができる生活を取り戻せることを願っております。

女性医師としての行動を通じて

長崎支部　黒﨑伸子

新年明けましておめでとうございます。

昨年、ながさき女性医師の会との協働で行った社会と繋がる活動を報告します。3月、AYA* week 2021を前に、オンライン・イベント「AYAって何？～若い世代のがんを考える」を開催し、AYA世代でのがん発症や体験者の抱える問題を共有し、課題解決を探るとともに、HPVワクチン接種の必要性を訴えました。8月、恒例の楠本イネ女史墓参を行い、生誕200年記念碑を長崎市内に建立する計画（～2027年）をスタートしました。11月、県内複数の女性団体で立ちあげた“「生理の貧困」対策プロジェクト・ながさき“に参加しました。長崎県医師会・県産婦人科医会・県小児科医会など多くの医療関係者の賛同も得て、県医師会報に「生理の貧困」とは、女性の健康問題がジェンダー不平等や貧困などに起因し、コロナ禍で悪化したことを書き、理解を深めていただきました。今年も、社会の課題に貢献できる活動を続けたいと思っています。

＊AYA：Adolescent and Young Adult（15～39歳）

新年のご挨拶申し上げます。

熊本支部　板井八重子

昨年末、ふと耳にしたラジオ深夜便で、映画「一粒の麦　荻野吟子の生涯」を制作した山田火砂子監督が、89歳にして次なる映画「われ弱ければ　矢嶋楫子伝」の製作に挑んでいることを知りました。荻野吟子が、私たちが大きな刺激を受けた大先輩であることは言うまでもありませんが、山田監督は「一粒の麦」製作中に荻野吟子が矢嶋楫子を大変尊敬していたことを知り、本棚に眠っていた三浦綾子著『われ弱ければ』を読み始め、今回の映画製作に至ったとのこと。熊本に住む身としては、「肥後の猛婦」と言われる人物矢嶋楫子の名前を知らなかったはずもなく生きてはきましたが、深く学ぶ機会はありませんでした。こんな形でわが「矢嶋楫子」を発掘してくださった時代のめぐりあわせに心が震えました。

女性医師で集まる時代でもないのではといわれたこともありましたが、ジェンダーの問題はまだ緒に就いたばかり。各界の女性たちと連帯し一歩を進める年にしたいと思います。

第 14 回医学を志す女性のためのキャリア・シンポジウム報告

「あきらめない」

2021 年 10 月 29 日オンラインで配信

男女共同参画事業委員長　磯貝晶子

テーマは「あきらめない」

2021 年 10 月 29 日（金）19 時より、「第 14 回医学を志す女性のためのキャリア・シンポジウム」を開催いたしました。コロナ感染予防のため Zoom でオンライン開催し、100 名の方にご参加いただきました。配信トラブルのため急遽 YouTube 配信併用となり、終了時間が大幅に遅くなってしまいましたが、最後まで多くの方にご視聴いただきました。

今回のテーマは、コロナ禍で女性の家事・育児・仕事での負担が増し、また女性に対するハラスメント・虐待が深刻化している状況の中、女性が周囲の圧力に負けず、生きていく勇気が持てるよう、「あきらめない」というテーマにしました。

第 1 部　村木厚子先生講演
「あきらめない
～女性のキャリアを考える」

第 1 部では津田塾大学客員教授、元厚生労働事務次官の村木厚子先生に「あきらめない～女性のキャリアを考える～」というテーマでご講演いただきました。

村木先生が第 1 子出産間もない頃、ふと手にした雑誌記事に、診察室の足元のかごの中に赤ちゃんを寝かせて診察をする女性医師が紹介されている記事を見て、産後 6 週で職場復帰する不安が軽くなり、とても励まされたそうです。

子連れで地方への単身赴任、子育てママさんに子供を預けての海外出張、えん罪事件でささえられたことなど、村木先生ご自身のご経験をお話しいただきました。

そして、①新しいチャンスをもらったら引き受ける、②昇進をオファーされたら受ける、③ネットワークをつくる、④「文句」ではなく「提案」をする、⑤環境をつくる（お金で時間を買う、周りの人に頼る）、⑥悩まない、申し訳ないと思わない、⑦貸し借りの感覚を持つ、⑧「本当にやりたいこと」をあきらめないなど、女性の先輩として、これからキャリアを積んでいく後輩へのおすすめを教えていただきました。

最後に、日本を強くする、私たちの社会をよりよくしていくためにはダイバーシティを強めていくことが最大の課題で、女性がもっと生き生き、のびのび働ける環境を実現していきましょうと結ばれました。

第 2 部　ディスカッション

第 2 部では村木先生と大谷智子会長、前田佳子前会長、青木正美理事でディスカッションを行いました。医療現場で女性医師がポストにつきにくい現状について、タスクシフトやフレックスタイム制度の導入、ワークライフバランスへの取り組みなどの対策を考えました。

今回は金曜夜のオンライン開催だったため、ご家族と一緒に視聴された方が多くいらっしゃったようで、「家族で話し合う良い機会になった」とのご意見を頂きました。

ご講演いただいた村木厚子先生に心から感謝申し上げます。

長寿社会福祉事業講演会

「高齢者の睡眠障害について～以前に比べて寝付けない、長く眠れないのは歳のせい?～」

2021年11月27日オンライン開催

長寿社会福祉委員長　馬場安紀子

外来診療時に高齢の患者様から、「眠れないので睡眠薬をください」と頼まれることがよくあります。しかし、睡眠薬には依存性を生じるものもあり、一方で高齢者の睡眠障害と認知症との関係も心配されます。高齢者の睡眠障害の問題点と解決方法について、降矢芳子先生にご講演いただきました。

以下に要旨を紹介します。

講　演　要　旨

「高齢者の睡眠障害について～以前に比べて寝付けない、長く眠れないのは歳のせい？～」

東京女子医科大学東医療センター　リハビリテーション科教授　降矢芳子先生

加齢による睡眠の生理的な変化

高齢者は、睡眠ホルモンといわれるメラトニンの分泌量の減少、体温の日内高低差の減少、日中の活動量の低下、疾患、治療薬の影響などにより、睡眠時間が減少する傾向がある。若年者では睡眠の前半に充分な深いnon REM睡眠が得られ後半にREM睡眠が増加するが、高齢者では深いnon REM睡眠が得られにくく浅い睡眠を繰り返し、中途覚醒も発生する。重要なのは、睡眠前半に、深いnon REM睡眠（徐波睡眠）をしっかり取ることで、特に重要な睡眠開始後90分を「黄金の90分」と称する。

睡眠障害の中にひそむ疾患

睡眠時無呼吸症候群（SAS）の原因、検査、治療、合併症、生命予後について解説された。加齢に伴って罹病率が上昇し、60歳以上の男性の20%にみられるという。CPAPの導入は、原則的に年齢制限はないとのこと。

むずむず足症候群（RLS）は、不眠症患者の10%にみられる。RLSの20%は、腎不全、貧血などに伴う二次性のものであり原疾患の治療が必要である。

REM睡眠行動異常症（REM）の特徴と治療について解説された。パーキンソン病、レビー小体病の前駆症状のこともある。

non REM睡眠の重要な役割

脳の休息：脳波はデルタ波（徐波）を示す。

成長ホルモンの分泌：糖・脂肪代謝、IGF-1分泌を促進し筋・骨の増殖を促す。

老廃物の除去：睡眠時間減少によりアミロイドβ排泄が減少し認知症リスクが増加する。

免疫強化：睡眠時間が長いほど風邪の罹患が減少、ワクチン摂取後の抗体産生が増加する。

記憶の固定：肥満や生活習慣病の予防：睡眠不足により、グレリンが増加、レプチンが減少し飢餓感が増加、食欲増進し肥満になりやすくなる。

質の良い睡眠をとるために

睡眠前半（「黄金の90分」を含む）に深睡眠（non REM睡眠）を十分とることが重要。睡眠障害の原因となる疾患があれば、その治療を行う。

寝る1時間前までに食事・入浴・運動を済ませて、少し体温を下げておく。

メラトニン分泌を妨げないよう室内を暗くし、朝は光をしっかり浴びる。

寝る前にアルコール・カフェイン摂取をしない。

内服薬、サプリメント、食品の中にも不眠をきたすものがないか検討する。

睡眠薬については、依存性の生じにくいものを選び、漫然と長期間使用しない方が良い。

ご講演を伺って、高齢者の不眠傾向は加齢による生理的なものであっても、睡眠障害により様々なリスクを生じることを再認識しました。睡眠障害にひそむ疾患の治療をすすめ、質の良い睡眠をとるために、日常生活や内服薬、嗜好品などを見直していければと思います。

貴重なご講演を賜りました降矢芳子先生に熱く御礼申し上げます。

宮城県女医会市民公開講座

『認知症専門医の父が認知症になって感じたこと、気がついたこと』

2021 年 10 月 24 日　仙台市医師会館多目的ホール

宮城支部　樋渡奈奈子

コロナ禍の中、感染症が専門で宮城支部の支部長を務める岩﨑惠美子宮城県女医会会長のリーダーシップの下、公益社団法人日本女医会からの助成を頂き、共催で「市民公開講演会」を開催致しました。秋晴れの中、84 名 が参加され、如何に多くの方が認知症に関心を持たれているかを再認識致しました。認知症がご専門でご自身も認知症と診断されたお父様との生活や、日常診療で真摯に患者と向き合われる先生のお姿から、医師としての原点を再認識しました。介護者への配慮を含め、皆が笑って暮らせるためのコツ等をユーモアたっぷりにお話され、また、ご講演の中で紹介された石原哲郎先生がフロアからコメントされるというサプライズもあり、会場は終始笑いの渦に包まれ、明日からの介護にパワーを頂く会となりました。今後、長谷川先生の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

講　演　会　抄　録

「認知症専門医の父が認知症になって感じたこと、気がついたこと」

長谷川診療所　長谷川　洋

父、長谷川和夫は 92 歳となりますが 50 年以上認知症の研究、診療に携わってまいりました。私が平成 18 年に診療所を開いてから 10 年程、父も週に 1 度診療をしておりました。父が診療で大事にしていたことは、ご本人の訴えを待つこと、時間を提供すること、そして共に悩み、できていることを共に喜ぶということだったと思います。

平成 29 年に私が所属する神奈川県精神神経科診療所協会の講演で父は認知症であることを公表しました。認知症の専門医でも認知症になる、誰でもなるということがわかってもらえたように私は感じました。人によって認知症の病状は異なります。父の場合、もともと思ったことをすぐに口にするほうで、すぐに行動するほうでした。テレビの取材で利用していたディサービスに行きたくないという発言がありました。別の取材ではディサービスは素晴らしい、みなさんが自分のことをよくわかってくれているとも話しておりました。私達は誰でも、仕事を頑張ろうと思うこともあれば、もう辞めたいと思うこともあるように、認知症になっても同じで気持ちは一定ではないのです。父から教えてもらったこととして「確かさがない。確かさがなくて不安で繰り返し聞いたり話したりする。」ということでした。不安を和らげることが大事に思いました。また認知症を

公表したことで多くの取材をいただけたのは父にとって幸せなことでありました。ご高齢になり長年行ってきた趣味や活動をあきらめてしまうかたも多いと思いますが、できる範囲で継続できるとよいと思います。

認知症のかたを支える方々にゆとりがある、疲れをためないように健康を維持していることが何より大事です。介護サービスを利用しプロの方々にお願いできることはお願いして家族でなければできないことを行うといいのではと思います。

2021 年 11 月 13 日に、長谷川和夫先生がご逝去されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

国際女医会通信
The Letter from Medical Women's International Association（MWIA）

25

初のハイブリッド開催となる国際女医会議 2022 は 5 カ月後に迫っています

National coordinator 前田佳子

COVID-19 パンデミックは、日本国内では 2020 オリンピック閉幕後に急速に感染者が減少しました。しかしオミクロン株という新たな変異株が出現し、年明け早々に感染の第 6 波が訪れ急拡大しています。

第 32 回国際女医会議は 2022 年 6 月台湾での対面開催で準備が進められてきましたが、世界的な感染者数の増加を鑑みてハイブリット開催となることが決まりました。国際女医会の先生と再びハグができるまでにはもう少し時間が必要ですが、一方で日本にいながら参加できるというメリットもあると思います。今回は、現在決っているプログラムの案内をさせていただきます。

第 32 回国際女医会議

開催日程：2022 年 6 月 24 日（金）～ 26 日（日）

開催場所：台北国際会議場（Taipei International Convention Center；TICC）

6 月 23 日（木）には病院見学ツアー、地域会議、ウェルカムレセプションなどが予定されています。

参加の早割登録は 2022 年 4 月 1 日までです。やむを得ない事情でのキャンセルは 6 月 1 日までにメール（info@mwia2022.net）で連絡してください。キャンセル手数料は約 5,700 円です。6 月 1 日以降のキャンセルは受け付けません。

演題登録は 2022 年 1 月 28 日ですので、詳細はホームページでご確認ください。

https://www.mwia2022.net/abstracts.asp

口頭発表・ポスター発表のテーマは多岐にわたっており、ほとんどの分野が含まれています。

内科、外科、産婦人科、小児科、神経科、精神科、歯科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、泌尿器科、麻酔科、画像診断科、救急医療科、核医学検査医学科、病理診断科、医用遺伝学、疫学・公衆衛生学、代替医療学、環境医学・職業医学、老年学・高齢者学、家族・職場暴力、リーダーシップとメンタリング、ワークライフバランス、ジェンダー医学、子どもの健康／女児の保護／エンパワーメント、医学教育／トレーニング、外傷学、法医学

第 1 日（6/24）　オープニングセレモニー、基調講演 1、基調講演 2、ランチシンポジウム、学術講演、口演、ポスター発表、総会 1
第 2 日（6/25）　学術講演、ランチシンポジウム、基調講演 3、基調講演 4、総会 2
　　パーティ
第 3 日（6/26）　学術講演、全体会議、ランチシンポジウム、口演、ポスター発表、総会 3
　　各賞発表、閉会式

詳しくはチラシをご覧ください。

私たちは、この 2 年で学会やセミナーのオンライン開催にも慣れてきました。3 年に 1 回の国際女医会議ですので、是非ともご参加ください。

	参加形式・会員種別	早割（2022/4/1 まで）	通常（2022/6/1 まで）
参加費（円）	フルパッケージ*　会員	54,000	60,000
	フルパッケージ*　非会員	61,000	66,000
	フルパッケージ*　学生・研修医	48,000	48,000
	会議のみ　会員	16,000	48,000
	会議のみ　非会員	19,000	55,000
	オンラインのみ　会員	16,000	19,000
	オンラインのみ　非会員	19,000	23,000
	オンラインのみ　学生・研修医	13,000	13,000

＊フルパッケージには 6/25 のパーティー参加費を含む　1 USD=113.6 円で換算

学術研究助成
受賞者の軌跡

RNAモドミクスを用いた新たな緑内障病態の解析

東北大学加齢医学研究所　モドミクス医学分野　助教　小川亜希子

目　的

我が国の中途失明原因の第1位は緑内障であり、失明者が現在も増加し続けている。眼房水に含まれる液性因子は様々な要因によって組成が変化し、緑内障病態や術後成績に影響を与える。緑内障手術が成績不良となる最大の原因は術後炎症に引き続いて創部に起こる過剰な瘢痕化であるが、既存の液性因子のみで病態を説明するには限界があり、新たな切り口が必要である。

近年DNAやタンパク質だけでなく、RNAもメチル化やアセチル化等の化学修飾を受けることが明らかになり、RNA修飾がエピジェネティクスに次ぐ新たな研究分野として定着している。そこで本研究ではRNA修飾と緑内障病態との関連を明らかにすることを目的とした。

方　法

質量分析を用いてRNA修飾を網羅的に検出するRNAモドミクス（Modification + Omics）を用いて、緑内障病態関連因子で刺激をした際のヒト結膜線維芽細胞RNA修飾と細胞培養上清中に含まれるRNA修飾由来液性因子の変動を解析した。

結　果

ヒト初代結膜線維芽細胞をTGF-βで刺激すると線維化能の高い筋線維芽細胞へと分化誘導された。この分化に際したRNA修飾の変動について、totalRNAからカラムやアガロースゲル電気泳動を用いてRNA種ごとに分画し、より詳細な解析を行ったところ、筋線維芽細胞への分化に伴い、RNAレベルで複数の修飾が変動していることを同定した。変動していたRNA修飾はいずれもミトコンドリア特異的に存在し、ミトコンドリアの品質管理に関与する修飾であった。線維化を抑制するROCK阻害剤を用いると、この修飾の変動は修飾酵素レベルから抑制された。

また、同細胞にマイトマイシンC処理をすると、培養細胞中でN6-methyladenosineが特異的に上昇した。N6-methyladenosineに対して300種類超の受容体スクリーニングを行い、adenosine A3受容体に対する活性化能を同定した。

考　察

緑内障術後線維化メカニズムの一つにミトコンドリア特異的なRNA修飾変動が存在することを示した。 また、緑内障手術時に使用する薬剤であるマイトマイシンC処理により、術後眼房水でN6-methyladenosineが上昇して受容体を介した作用を及ぼしている可能性がある。以上によりRNA修飾由来の新規液性因子群は緑内障を制御する新たな分子標的である可能性が示された。

謝　辞

本研究の遂行にあたり、第40回日本女医会学術研究助成をいただき、選考委員の先生方および会員の皆様、関係者の皆様に心より御礼申し上げます。今回の受賞は私にとって研究継続と発展の大きなモチベーションとなりました。研究を通じて社会の課題と向き合い、真に価値のある生体の仕組みを解明することで社会に還元・貢献できるかを考えながら今後も精力的に研究を展開していきたいと思っております。

JMWA ARCHIVES

日本女医会
アーカイブ
#013

英領馬來からの手紙②

日本女医会雑誌　第20号
大正12（1933）年12月刊

今回は、前号に引き続き当時の英国領マラヤ（マレー半島とシンガポール島に存在した植民地）のスレンバン市で医療活動を行っていた大貫せつ子会員からの寄稿をお送り致します。

イギリスがマレー半島に進出しはじめたのは18世紀末。オランダとの覇権を争った結果、イギリスは19世紀末には錫、20世紀に入ってからはゴムのプランテーションで莫大な利益を上げ、大貫せつ子が移住した1910年ごろには、マレー半島全体を直轄植民地として支配しておりました。

錫鉱での労働力、また採掘技術者として、イギリスはもとより、中国、インドなどのアジア各国からの移住者も多く、せつ子もさまざまな人種を診察治療したとの記述が残っています。

なお、原稿中の用語・語句につきましては、当時のままとさせて頂いておりますので、ご了承下さい。

水牛の角をかたどったといわれる伝統的建築
スレンバン文化センター

私共はよく日曜日を利用して護謨山に靜養のつもりで遊びに行きました、護謨園に囀る小鳥の聲、友を呼ぶ野猿の叫びなどは靜寂なる馬來の森の音樂である如くに面白く聞いたものでした、折々極めて輕いひびきをさせて護謨の實がはじけ落ちる音などは實に妙に聞こえました。

～中略～

護謨や椰子で名高い馬來半島も既懇地は極少部分らしく其多くは鬱蒼たる千古の大森林であります、其森林の樹木は熱帶獨特のもの多く日本のそれと大に趣を異にして居ます、大木の深々たる處女林、葡萄が樹林から樹林へ縦横無盡に纏絡し荊棘が繁茂する密林では晝でも尚闇く數歩の前方すら透視するのが困難であります、こんな山道でも、馴るれば百哩位は平氣でお伴をつれて土人や支那人や西洋人稀に日本人の宅へ往診したものですが、虎が跳り出はしないか、毒蛇は、鰐はと氣味悪く思つた事も度々ありました。

當市の道路は日本では見られぬほど完全のものです、いかなる田舎道でも同じことに、それから排水裝置も割合によく出來て居ますから雨が降つても軒下が不潔にならず氣持ちよく感じました。

～中略～

南洋は赤道直下であるからまるで焦げて死でもする様に誰でも思つて居ますが決してさうでなく意外に涼しいので實に凌ぎ易いのでした、然しそれは二三ヶ月過ぎて土地に馴れ食事も餘程攝れる様になつてからのことでありまして實際は新嘉坡に上陸した時は成程あついと感じました、私は當時十數名の一團體と共に最初新嘉坡の某齒科醫の宏大美麗なる門を叩きそれから會社の家探しに歩きました、が一目で明石の單衣に黒紋付の羽織といふ日本女醫のスタイルがいやになりました、それは何としても周圍と不調和で少しもひきたちませんでした、そこで目的地に着いてからは直に活動的洋服にとり代へました。

～中略～

渡航を企てた動機は今更申さなくともよく御承知のことゝと思ひますが、とにかく馬來首府の大貫藥房で日本女醫として活動し中絶した日本醫師の玄關を新たに盛大にし其上少なくとも日本醫學士一兩名と計り各専門を明にして出來る限り大發展するの覺悟を以て居りましたが幸か不幸か其目的はがらりとはづれてしまひました、こゝには以前に來て居た五十位の日本産婆が留守をして居ながらお産の方を取扱ひ土人を入院させたり藥を賣つたりして居ました、それから非常に勉強家の藥局生と支那人のコックとゴム園の從業員が二三名居ました、私は到着した翌日から診察にとりかゝり朝に夕に馬來語の會話の練習に沒頭しました、傍ら英語も學ぶ事にしました、其先生としては馬來語の先生である藥局生を主とし某外混血兒夫婦を招きました、其分かるまでの通譯は産婆と藥局生でしたが言葉は意思の發表と密接な關係がありますことからしても極めて無表情な診察振りを見せねばならぬので其間多少に拘はらず不愉快と物足らなさとを感じました、其物足らなさは益々會話の研究に熱心となり五ヶ月目からは診察する爲めに使ふ言葉は丈けば面白く出來る様になりました、其代り一貫目ばかり體重が減じました一年後にはさのみ不自由しなくてすみました。

～中略～

病氣の種類は熱帶病即ちマラリヤ熱、黒水病、デング熱熱帶潰瘍、熱帶赤痢、以上のものが最も多く其他は一般の急性及慢性病、悪性黴毒、及其他の花柳病でありましてこれ等の病氣は日本を變つたことはありません、産科婦人科小兒科外科何でも來ます、患者の色が餘りに黒いため視診上困ることもありましたが診斷に苦しむ様な事は殆どありませんでした、黒水熱の如きは日本では見たことがありません併しそれも一回診れば直に分かります、私は黒水病を三名治療して癒した例を邦人にもつて居ますが多くは死亡します、邦人のゴム園從業員多くは慢性マラリヤとなり最後に黒水病となつて命をとられるのがよくあります、其他珍しいものとして取扱つたのは一歳未滿小兒マラリヤでした、これは脾臓肥大と便秘發熱前の戰慄がよく認められました、日本では診たことがあり

ませんでしたから其治療法を熱心にやつて見ました、

～中略～

英國政廳の規則として英領都市で毒藥を人に與へることの出來る醫師は日本では數ヶ所の男子の學校出身者に限られて居まして日本女醫には最初から外國で病人に毒藥を賣ることの出來るライセンスは與へることを拒まれました、勿論それは初めから分つて居ることですが、英國政府のライセンスがあるものがひとり院主であれば醫業を營むに何等不自由はないのでしたが、折から私の保護者は會社やゴム栽培業等のためにあちこちに仕事がありますので某餘波は私にも及ぼしのみならず一年の半を日本に居らねばならね立場になつて居ましたので私は醫業の外會社の仕事にもかゝらねばならず、遂に院主を院主とすることが困難となりました、然し幸なことに日本女醫を政廳ではよくそれを承知し默許してくれましたので政府病院に信頼しつゝやつて居ましたが何となく心細い感じも致しましたので付近に居られた九大卒の醫學士を顧問と致して居ましたので氣分は樂でありました其後好結果であつたものですから其方の醫院と合併し科目を分擔して大々的に發展し利益の分配をしてはと再三すゝめられたこともありました。

～中略～

私は母國を離れて外國に轉住し、女醫として立派に獨立開業してゆくには餘りに自己が無資格であり貧弱であつたことに氣付きました、海外僅かなれど三千哩本國と遠ざかり第一ぎくりと胸に感じたことは語學の素養の足らぬことでした、然し馬來では馬來語が共通語になつて居ますから比較的早く氣樂になった次第です。

日本女醫の國際的立場は現在では敵當な地位を得て居りませんが少なくとも其完全な地位を得るまでにはどうしても今後と雖も幾人或は幾千人かの犧牲者を派出せなければならぬと思ひます。噂さに聞けば博士論文を提出さるゝ準備中のお方もあり、大學で御研學中のお方もあり又歐洲に赴かれて御研學の御方も續々ある時代になりましたから近き將來には必ず男子と同等以上に認められるゝこゝ思ひます。

最後にせつ子は、日本の女医として外国に渡航を希望する会員に向けていくつかのメッセージを掲げています。

一、語學ある程度まで御研學のこと
二、確實なる保護者を最も必要とすること
三、獨りで行くは不安と不利の點あること
四、單に物質を得んがためには不可能なること（それ丈けの努力せば母國で得らるると思ふから）
五、何より先に戰闘力の養成に及第した御方であること

（文中敬称略。引用箇所は一部常用漢字の表記としました。文責：広報部）

第2回

北から南から

岩手に住んで46年、あっという間に70歳

山口淑子
岩手支部

2010年還暦を迎えました。多くの方々に支えられながら60年、これからはご恩返しの時だと心に決めました。そういう中、ノートルダム清心学園理事長の渡辺和子先生の『置かれた場所で咲きなさい』という本に出合いました。「どんなところに置かれても花を咲かせる心を持ち続けよう。境遇を選ぶことはできないが、生き方を選ぶことはできる。

「現在」というかけがえのない時間を精一杯生きよう。」という教えでした。その6月、岩手県医師会の常任理事に推挙され学校保健、乳幼児保健担当の常任理事となりました。それまで医師会の仕事は、積極的には関与することなく過ごしていました。そして翌年2011年3月11日、東日本大震災・大津波が起こりました。岩手県沿岸での未曽有の災害は皆さんもご存知のとおりです。1か月後の4月、沿岸の医師会から県医師会に支援の要請があり、大忙しの毎日が始まりました。

岩手県小児科医会の先生方と共に乳幼児、保育園、幼稚園、小中学校の健診、急に立ち上げた岩手県医師会高田診療所の診療などです。私は愛車プリウスを運転し、片道2時間を週3回位行ったでしょうか。公道ではない川の脇道、工事中の道、橋が壊れているための回り道など、さほどうまくもない運転技術の私がよくも事故なく……。今まだ全国からの応援は続いております。ありがとうございます。一段落した時、会員である国際ロータリー第2520地区（宮城県、岩手県）の2014～15年度ガバナーに指名されその任につくことになりました 。一年間のお仕事でしたが、内容の濃い活動であり、今もポリオ撲滅運動をやっております。ガバナー年度を終えほっとして受けた予防医学協会のドックで未分化型の胃がんが見つかり、抗がん剤治療、胃全摘手術をうけ、今は元気に診療を続けております。あっという間に70歳となった私の人生を紹介しました。

公益社団法人日本女医会

(((理事会議事録)))

2021 年度第 4 回理事会議事録

1．日時・場所

1．日時　2021 年 9 月 18 日（土）
　午後 3 時 30 分～午後 5 時 30 分
2．場所　ZOOM による
　オンライン会議
3．出席者

理事	大谷智子	花岡和賀子
	青木正美	磯貝晶子
	木村友美	塚田篤子
	中田恵久子	野村明子
	馬場安紀子	樋渡奈奈子
	藤谷宏子	村上京子
	芳川た江子	
監事	沖村英佳	前田佳子

2. 継続審議事項

1．2021 年度ブロック懇談会について　（継続）
・芳川理事より、現在鳥取での開催を予定して、協議中である旨の報告があった。2022 年 1/23 または 1/30 を予定。
2．日本女医会創立 120 周年関連事業について　（継続）
・馬場副会長より、120 周年記念誌は 2022 年 9 月発送を目処に作成を進める旨報告があった。
3．第 67 回定時総会について（継続）
・芳川理事より、同日の公開講演会は第 65 回定時総会で予定していた『もっと知りたい災害時のトイレの話』（講師：加藤 篤氏）を開催する予定である旨の報告があった。
4．HP リニューアルについて
　（青木理事）（継続）
・青木理事から説明があり、詳細は次回理事会以降に検討することした。
・ZOOM、メーリングリスト、Google 等との契約については、今後調査の上、現在までの青木理事の立て替え分を精算し、改めて法人契約とすることとした。
・HP の書き換え等の運用方法については、IT 部で概要を検討することとした。

3．審議事項

1．2021 年 7 月・8 月会計報告承認
　（承認）
2021 年 7 月、および 8 月の会計報告が承認された。
2．2021 年度第 3 回理事会議事録承認　（承認）
2021 年度第 3 会理事会議事録が承認された。

4．報告事項

1．各部、NC 報告
1）庶務部報告
・芳川理事より、会員動静について報告があった。
・吉岡彌生賞、荻野吟子賞の応募状況について報告があり、9/18 現在で応募はまだない旨報告があった。
2）広報部報告
樋渡理事より、9/25 発送予定の会誌 243 号の進捗について報告があった。
3）ナショナルコーディネータ報告
前田監事より韓国女医会主催の国際女医会西太平洋地域のヴァーチャル会議についての報告があった。
2．各委員会報告
1）男女共同参画事業委員会
磯貝理事より、講演タイトル、次第等について報告があった。収録は、10/16 の予定。
2）長寿社会福祉委員会（資料 6）
馬場副会長より、2021 年度の講演会の案内チラシ等について報告があった。今年度は、IT 部が技術的なサポートは行い、業者を入れずに生配信で行う。配信前にリハーサルを行う。
3）女性の健康支援事業委員会
樋渡理事より、今年度は「コロナ禍の中での予期せぬ妊娠とその対応」をテーマに 2021 年度講演会を 2022 年 2 月に開催を予定している旨報告があった。
講師は、安達知子先生を予定。HPV ワクチンについての接種啓蒙も視野に入れる。
4）小児救急事業委員会
中田理事より子どもの発達障害についての講演等を考えている旨報告があった。
3．対外的団体活動
1）国際婦人年連絡会
前田監事より、7/21、9/15 に常任委員会を開催した旨報告があった。
2）国連 NGO 国内女性委員会
CSW66 について報告があった。
9/6 に役員会を開催した旨報告があった。
9/30 の勉強会への参加の呼びかけがあった。

以上

公益社団法人日本女医会

(((理事会議事録)))

2021 年度第 5 回理事会議事録

1．日時・場所

1．日時　2021 年 11 月 20 日（土）
　午後 3 時 30 分～午後 5 時 30 分
2．場所　ZOOM による
　オンライン会議
3．出席者

理事	大谷智子	花岡和賀子
	青木正美	磯貝晶子
	木村友美	塚田篤子
	中田恵久子	野村明子
	馬場安紀子	樋渡奈奈子
	藤谷宏子	村上京子
	芳川た江子	
監事	沖村英佳	前田佳子

2．継続審議事項

1．2021 年度ブロック懇談会について　（承認）
・芳川理事より、1/30 13：00 ～ 15：00 に鳥取支部を中心に、中国・四国地方の会員も交えて ZOOM で開催することとする旨報告があり、承認された。司会は芳川理事、懇談会の進行は大谷会長。
2．創立 120 周年記念誌（日本女医会史追補版）について　（継続）
・馬場副会長より、記念誌の担当についての説明があり、この担当をもとに項目別等での担当を決めることとした（執筆にあたり、過去を知る古参会員に取材することも可）。
・本のタイトル：日本女医会創立 120 周年記念誌　日本女医会 100 年史追補版
3．第 67 回定時総会について（継続）
・芳川理事より、ZOOM で開催予定である旨報告があった。
・講演会は『もっと知りたい災害時のトイレの話』（講師：加藤 篤氏）。担当は前田監事。
4．HP リニューアルについて（継続）
・青木理事より、HP のリニューアルについて以下の進捗状況の報告があった。
・英語ページをどうするか等のディスカッションを行っている。
・地方支部と本部をつなげる、情報

交換ができるプラットフォームとなるようにする。
・これに伴い、定款の変更も視野にいれるべきである。
・対外的アピールを大々的に行うためにも、IT 化が必要である。
・2 月初旬を目処に新規サイトに移行する。
・フリーメール（gmail）の活用の推進（本件については、樋渡理事より HP との関連性について質問があった）。

3．審議事項

1．2022 年度事業計画案、および予算案について　（継続）
・大谷会長より、各部、各委員会に対して、事業計画案、予算案についてヒアリングが行われ、次回理事会において両案を承認することとした。

2．2022 年度役員選挙日程について　（承認）
・大谷会長から役員選挙の日程の発表があり、承認された。

3．東京都支部連合会への名簿データのお渡しについて　（承認）
・大谷会長から状況の説明があり、沖村監事の監修による「個人情報データの取り扱いに関する確認書」を取り交わすことにより、データをお渡しすることが承認された。

4．地方支部の個人情報取り扱いについて
審議事項 3 に伴い、青木理事から今後の日本女医会のありかたについて意見が述べられた。

5．2021 年 9 月・10 月会計報告承認　（承認）
2021 年 9 月・10 月会計報告が承認された。

6．2021 年度第 4 回理事会議事録承認　（承認）
2021 年度第 4 回理事会議事録が承認された。

7．新入会員について　（承認）
2021 年 9 月 17 日から 11 月 18 日期間の新入会員 1 名が承認された。

8．その他
・2022 年役員新年会について
2022 年 1 月理事会は ZOOM での開催とし、新年会は行わない。新型コロナウイルス感染症の収束状況により、2022 年 3 月、もしくは 4 月の理事会を、東京駅付近の会場において対面で行いたい旨芳川理事より提案があった。

4．報告事項

1．各部、NC 報告
1）庶務部報告
・会員動静
芳川理事から会員動静について報告があった。
・吉岡彌生賞、荻野吟子賞の応募状況について
芳川理事から応募者募集の呼びかけがあった。

2）広報部報告
・会誌 243 号、および 244 号について
樋渡理事より、243 号において鹿田儀子先生の肩書に誤りがあったため、244 号誌上において訂正記事を掲載する旨報告がった。
244 号の締切について報告があり、243 号から各会員もちまわりの執筆による『会員だより』（仮題）を新たに連載する旨報告があった。
・樋渡理事より、HP で HPV ワクチン等のお知らせについて掲載したい旨の報告があった。また、スプーンフルワンのアレルギーに関する記事を会誌 244 号に掲載する旨報告があった。
・木村理事から会誌広告を取るとの報告があった。

3）学術部報告
・磯貝理事より、学術研究助成の応募状況について報告があった。

4）IT 部報告
・青木理事より、キャリア・シンポジウム配信時のトラブルについて報告があった。

5）ナショナルコーディネータ報告
・前田監事より 2022 国際女医会議（台湾　6/24 ～ 6/27）について、1 月まで演題登録ができる旨の報告と参加の呼びかけがあった。案内チラシは、会誌 244 号に封入の予定。

2．各委員会報告
1）男女共同参画事業委員会
・磯貝理事より、第 14 回キャリア・シンポジウムのアンケート結果について報告があった。同時接続は最大 86 名だった。YouTube の当日の再生は 109 回。

2）長寿社会福祉委員会
・馬場副会長から、次週の講演会の今後のリハーサルの予定について報告があった。

3）女性の健康支援事業委員会
・2021 年度講演会（2022 年 2 月開催予定）の講演会について
樋渡理事より、コロナ禍の中での予期せぬ妊娠、緊急性ピル、コロナ禍における女性の性と健康をテーマに準備中の旨報告があった。
開催日は、2022 年 2/5、2/6 のいずれかを予定。
講師からの希望は、可能であれば対面での講演とのことだが、今回は ZOOM 配信とする。

4）小児救急事業委員会
大阪府女医会で行われる医学の進歩シリーズの紹介があった。

3．対外的団体活動　（前田監事）
1）国際婦人年連絡会
・前田監事より、常任委員会の報告あった。要望書を提出。
・国際開発委員会のセミナーが開催された。『セクシャリティガイダンスについて』
・国立女性教育会館（独立行政法人）フォーラム　オンライン開催

2）国連 NGO 国内女性委員会
・来月講演会を開催予定

4．その他
1）乳腺外科医事件の経過について
本件について、磯貝理事より 2022 年 1/22 上告審弁論が行われる旨の報告があった。

以上

会員動静

（2021 年 8 月 27 日～ 12 月末日現在・敬称略）

	氏　名	支部	卒年
入会	海老原千尋	栃木	平成 18 年
	瀬川裕子	文京	平成 12 年
物故	和田一恵	千葉	昭和 24 年
退会	15 名		

https://www.otsuka.co.jp/

トータルヘルスケア企業として、
これからも、さまざまな人生のそばに。

Pharmaceuticals × Nutraceuticals

大塚製薬は、“Otsuka-people creating new products for better health worldwide”の企業理念のもと、疾病の診断から治療までを担う医療関連事業と、日々の健康の維持・増進をサポートする ニュートラシューティカルズ関連事業からなる両輪事業の強みを活かして、さまざまな社会課題や健康課題に取り組んでまいります。

Otsuka 大塚製薬

大塚グループは、おかげさまで創業100周年を迎えました。

HUNDRED YEAR OTSUKA QUALITY

生命にとどくまで。

健やか親子21

ホームページ

健やかな子育てを応援する

妊娠 出産 子育て に関わる人のための情報サイト

健やか親子21とは

皆さんで、子どもが健やかに育つ社会を築くための取組です。

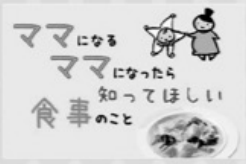
「健やか親子21推進協議会」は、
この取組が多くの人に伝わるように
普及啓発を推進しています。

チェックしてね!!

健やか親子21 検索

妊娠や出産をむかえるワタシが知っておいたほうがいいコトがあるの

——妊産婦の食事について（ドクターインタビュー）



子育てに悩んでいるママに知ってほしいコトがあるんだ

——子育ての悩みについて（リーフレット）

思春期のボクたちが悩んでいるコトをお父さんやお母さんに知ってほしいんだ

——思春期アンケート調査（解説）

健やか親子21

健やか親子21の取組に賛同する専門団体や職能団体が連携して、
妊娠・出産・育児に関わる人のための、様々な情報をお伝えしています。

健やか親子21推進協議会

ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

役員選挙告示

公益社団法人日本女医会定款第二十五条、及び役員選出に関する規程（以下規程）により、以下の要領で役員選挙を行います。

規程により理事は地域別、及び全国区から選出され、監事は全国からの選出となります。

一、役員定数

理事　十二名以上二十一名以内（会長一名、副会長三名以内含む）

監事　二名以内

理事の地域別の定数は、規程第三条に依り以降に定めるものとする。

地域名	当該都道府県	定数
北海道 東北	北海道・青森・秋田・山形・ 岩手・宮城・福島	2
東京	東京都区内・都下	6
関東 （東京外）	神奈川・千葉・埼玉・茨城・ 栃木・群馬	5
甲信越 北陸	石川・富山・新潟・長野・ 山梨・福井	1
東海	岐阜・愛知・静岡・三重	2
近畿	大阪・京都・兵庫・奈良・ 和歌山・滋賀	2
中国 四国	山口・岡山・広島・島根・ 鳥取・高知・徳島・愛媛香川	1
九州 沖縄	福岡・佐賀・大分・長崎・ 熊本・宮崎・鹿児島・沖縄	1
全国区		2

二、立候補届の受付期間

令和四年一月十六日～二月十四日

日本女医会本部事務局気付選挙管理委員会宛で、簡易書留またはレターパックで郵送のこと。（締切当日消印有効）

立候補時の届出書類は左記のものとし、日本女医会規定の用紙を用いることとする。

1　立候補届
2　規定の履歴書
3　支部長の推薦状

役員立候補者は、所属支部の支部長の推薦を必要とし、所属支部にて支部長不在の場合には、所属地域内の一名の支部長の推薦を必要とする。（立候補に関する届け出書類は日本女医会事務局にご請求ください）

三、選挙方法

理事選挙の各地域において、立候補が定数内の場合は無投票とする。定数を越えた場合は、該当地域の会員に立候補者名簿と投票用紙を郵送し、郵送による無記名投票を行う。

監事選挙に於いて立候補者数が定数内の場合には無投票とする。定数を超えた場合には、全国の会員に立候補者名簿と投票用紙を郵送し、郵送による無記名投票を行う。

四、投票期間

令和四年三月十七日～四月十五日

期間中に投票用紙を日本女医会本部事務局気付選挙管理委員会宛に郵送のこと（締切当日消印有効）

五、投票結果の発表

投票結果は、確定後ホームページで行う。

役員の承認は、第六十七回公益社団法人日 本女医会定時総会の席上において行い、その後、新理事の互選にて会長、副会長を選 任する。

尚、被選挙人は入会後三年を経た正会員であり、令和四年三月三十一日現在で満七十五歳未満、支部長との兼任していない会員とする。選挙人は選挙の九十日前までの正会員で、いずれも会費完納者とする。

以上

公益社団法人日本女医会
選挙管理委員会

公益社団法人日本女医会　第 67 回定時総会のお知らせ

2022 年の定時総会を、下記の要領で開催の予定です。

今年度も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し、ZOOM ウェビナーでの開催とさせて頂きます。

また、同時開催の公開講演会は災害時におけるトイレに関する講演会『もっと知りたい災害時のトイレの話』を開催致します。皆様、ふるってご参加くださいますようお願い申し上げます。

2022 年 5 月 15 日（日）

●第 67 回定時総会

●公開講演会　『もっと知りたい災害時のトイレの話』
講師　NPO 法人日本トイレ研究所 代表理事　加藤 篤氏

乳幼児用ミックス離乳食（Spoonfulone スプーンフルワン ®）についての注意喚起

乳幼児用ミックス離乳食（Spoonfulone スプーンフルワン ®）につきましては、日本小児アレルギー学会のホームページにも記載されていますように、生後 6 ヵ月以降の乳幼児を対象とした 16 種類の食物（鶏卵、牛乳、小麦、ピーナッツ、くるみ、ピーカン、アーモンド、カシューナッツ、ヘーゼルナッツ、ピスタチオ、ゴマ、大豆、エビ、鱈、鮭、オーツ麦）のタンパク質 30mg ずつを含む食品です。米国では乳幼児の食物アレルギーの発症予防を期待して販売されていますが、日本においてはそのような記載はなく離乳食とだけ記載され販売されています。事故などが起こらないように、日本小児アレルギー学会、日本アレルギー学会、日本臨床アレルギー学会、日本外来小児科学会、食物アレルギー研究会から連名で注意喚起が 2021 年 10 月 8 日に発出されました。

問題点などが紹介されていますので、ご確認いただき、ご使用の際は充分にご留意下さい。

乳幼児用のミックス離乳食（Spoonfulone スプーンフルワン ®）に関する注意喚起｜お知らせ｜一般社団法人日本小児アレルギー学会（jspaci.jp）https://www.jspaci.jp/news/both/20211008-2901/

小児救急委員会　　藤谷宏子

ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチン接種の積極的勧奨再開について

令和 3 年 11 月 12 日、第 72 回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和 3 年度第 22 回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催）において、HPV ワクチン接種の積極的勧奨を再開することが了承されました。

日本小児科学会、予防接種・感染症対策委員会において「ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチン接種の積極的な勧奨再開後の留意点」を作成されましたのでご参考になさってください。新型コロナウイルス感染症の影響で自治体により定期接種の期間が延期されていますのでご確認ください。

ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチン接種の積極的な勧奨再開後の留意点 https://www.jspaci.jp/news/both/20211008-2901/

小児救急委員会　　藤谷宏子

訂正とお詫び

会誌 243 号掲載の『追悼 石原幸子先生を偲んで』をご執筆頂きました鹿田儀子先生の肩書に誤りがございました。

誤：北支部長　鹿田儀子

正：日本女医会元副会長　鹿田儀子

鹿田儀子先生、並びに現北支部長の大鳥千枝美先生にご迷惑をお掛け致しましたことをお詫び申し上げますとともに、訂正をさせて頂きます。（広報部）

編集後記

あけましておめでとうございます。

2021 年 10 月に新型コロナウイルス第 5 波（デルタ株の流行）が収束したのも束の間、オミクロン株感染拡大で、また油断ならない状況になってしまいました。感染症流行の最前線で働いておられる先生方に心より感謝申し上げます。

2022 年は「壬寅（みずのえとら）」。太陽を象徴とした生命循環を表す十干（じっかん）の 9 番目「壬」は「妊に通じ、陽気を下に妊（はら）む」、十二支の「寅」は「蠎（ミミズ）に通じ、春の草木が生じる」というイメージ。冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれるという意味を持つ「壬寅」は縁起の良い年、新しいことを始めるには良い年だそうです。

2022 年が皆様にとって明るい年になることを願っております。（広報部　木村友美）

寄附者一覧

（2021.9 月 1 日～ 12 月末日）（敬称略）

以下のとおりお知らせいたします。
ご協力ありがとうございました。

栃木	石川由紀子　島田明美 馬場安紀子
神奈川	磯貝晶子
荒川	大谷智子
板橋	野村和子　宮川美知子
葛飾	野村明子
杉並	中島桂子
世田谷	矢後文子
大阪	阪口昌子

日本女医会誌

復刊第 244 号　2022年1月31日発行

編集人　樋渡奈奈子　発行人　大谷智子
制作　あづま堂印刷㈱
発行所　公益社団法人日本女医会
〒 151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-3-19
ロワレール千駄ヶ谷 202
TEL 03-6447-0820　FAX 03-6447-0821
http://www.jmwa.or.jp
e-mail : office@jmwa.or.jp